

# 過去の発言は「個人的」

## 首相歴史認識で答弁書

政府は10日に閣議決定した歴史認識などに関する答弁書で、安倍首相の過去の発言をただす質問

に対し、「政府として答える立場はない」との回答を乱発した。戦後50年の「村山首相談話」など、首相が継承を表明したものを以外はノーコメントを通した。

社民党の辻元清美衆院議員の質問に答えた。辻元氏は、雑誌などから「自虐史観に侵された偏向した歴史教育」といった首相就任前の発言を引用。「政治家として歴史認識を示すべきではない」というのなら、何を根拠に『歴史教科書が問題だ』と発言してきたのか」とかみついた。

答弁書は「政治家個人として記したもの」と大半をかわしたが、靖国参拜では「国のため戦った

つながり、断固抗議する」とする談話を発表した。  
また、日本政府に対し、国連安全保障理事会での国連憲章第7章に基づく制裁措置の議論とともに、核問題をめぐる6者協議の早期実現に努力するよう求めている。